

平成 29 年度長崎県柔道場連盟総会（議事録）

日時：平成 29 年 4 月 23 日（日）

場所：長崎市新地町「京華園」

時間：11:30～12:22

1. 開 会

松永理事長が議長を務め進行を行う。

2. 会長挨拶：本村龍太郎 会長

本日は県内各地から各先生方にお集まりいただき感謝申し上げます。

1/22 に平戸市で講道館青少年柔道講習会、3/12 は佐世保市で全柔連の後援を受けて少柔協「柔道教室」が開催され 200 名以上の参加があった。お世話いただいた北松柔道協会及び佐世保柔道協会の先生方にお礼を申し上げます。NCC や新聞などマスコミにも取り上げられた。また、3/26 にメモリード杯長崎県柔道場連盟少年柔道大会が盛会裏に終了した。4/1 は中学生選抜団体九州柔道大会が開催され、5 年ぶりの 3 位になった。4/9 は全日本カデ柔道選手権大会で 66 kg 級出場の長崎日大高校の桂嵐斗選手が県勢初となる優勝に輝いた。今後はポーランドで開催される世界大会での活躍が期待される。また、長崎南山高校の田中伶選手も準優勝した。長崎県の選手が大活躍している。

3. 来賓紹介

NCC 長崎文化放送 株式会社 代表取締役社長 壹岐 正 様
株式会社メモリード 専務取締役 吉田清盛 様

大会成立

本日は会員 75 名の内、出席 25 名、委任状が 39 名、合計 64 名である。よって過半数を満たしており、大会は成立していることを報告する。

《報告事項》

（1）平成 28 年度会務・決算・監査報告

会務報告：資料により松永理事長が説明。

会計報告：資料により第 27 回柔道場連盟大会収支報告、H28 柔道場連盟収支報告について松本会計が説明。28 年度決算では、柔道場連盟大会決算から 587,985 円を繰り入れ、5,773,302 円である。4,100,769 円を翌年度繰越とする。

監査報告：村田副理事長より報告。

4/16 に光仁会病院で監査を行い、適正に処理されていたことを確認した。

（2）道場連盟普及・強化委員会報告

中地区：俣野強化委員長より報告。

佐世保地区：山崎強化委員より報告。別添資料参照。

県Nマーク強化報告：陣内県強化副委員長より説明。報告書を供覧。

松本会計：国体事業強化会計として、年間強化練習費を 123,100 円要した。県から 10 万円の補助あり。五島合宿では五島市から 201,000 円補助金があった。

議長：報告について皆さんの質疑をお願いする。→ 質疑なし→ 承認される。

《協議事項》

（1）平成 29 年度事業計画（案）・収支予算（案）審議

事業（案）：松永理事長が資料により説明。

●柔道大会の開催及び支援

- ①全国小学生学年別柔道大会予選 5/27 (土) 県立総合体育館
- ②九州少年柔道大会 6/17～18 県立総合体育館アリーナ
- ③明社協柔道大会 12/3 県立総合体育館
- ④NCC 杯柔道大会 2/4 県立総合体育館
- ⑤メモリード杯柔道場連盟少年柔道大会 3/25 県立総合体育館アリーナ

●各道場の支援

- ①全国少年柔道大会の県代表チームに支援
- ②全国小学生学年別柔道大会の代表に支援

●選手強化活動

収支予算(案):資料により松本会計が説明。

予算として収入額 4,610,769 円、支出額 2,730,000 円(繰越見込額 1,880,769 円)

議長:説明について、皆さんからの質疑は? → 意見なし→ 承認される。

(2) N マーク強化練習・強化合宿について

陣内県副強化委員長: N マーク合同練習については、これまで拠点をチューリップアリーナで行ってきたが、今後は各地区持ち回りで実施する。日程や場所については、後日報告する。また、五島合宿(8/5～7)、及び佐賀への遠征(1月～2月)も前年同様に実施する。

本村会長: 以前の合同練習では福岡県などからの参加もあっていたが、今は県内中心になっている。今後の練習の考え方は?

陣内副強化委員長: 以前は五島合宿に北九州からの参加もあった。練習場の確保の問題もあるが、今後の計画の中で他県チームとの合同練習について検討していきたい。

議長: 説明に対し、皆さんからの質疑は? → 意見なし→ 承認される。

(3) 役員改選

議長: 役員改選にあたり、本村会長に次期会長も是非ともお願いしたいと思うが、出席委員の賛同は? → 「大きな拍手」

別添H29年度役員名簿(案)について変更箇所の説明。

- ・佐原恭輔 顧問(県柔道協会理事長 兼 長崎市柔道協会会長)
- ・吉岡 強 顧問(諫早市柔道協会会長)
- ・土本武一郎 顧問(島原半島柔道協会会長)
- ・山口末男 相談役(県柔道協会副会長) ※柔道場連盟副会長を勇退
- ・陰山 勇 相談役(県柔道協会副会長) ※柔道場連盟副会長を勇退
- ・西 正勝 参与(諫早市柔道協会理事長)
- ・小倉鹿太郎 常任理事(五島市柔道協会理事長)
- ・大庭義弘 副会長(講志館) ※柔道場連盟常任理事から副会長へ
- ・山崎靖志 常任理事(佐世保柔道協会少年部)
- ・高増仁毅(柔技館) ※柔道場連盟監事を勇退

5団体の脱会報告

三菱クラブ菱柔会、西彼町鍊成会、瑞穂柔龍会、国見中学校、
佐世保柔道協会中等部

強化委員の変更について報告

- ・長崎地区強化委員長 桂 雄剛 先生
- ・ 〃 強化委員 平井 浩一郎 先生
- ・ 五島地区強化委員 石原 与一 先生
- ・ 女子部門指導員 平山優子 先生

議長：説明に対し、皆さんからの質疑は？ → 意見なし→ 承認される。

(4) 全国小学生学年別柔道大会長崎県予選について

松永理事長：資料に大会要項を添付参照。5/27（土）開催。

新ルールでの試合となる。審判員はAライセンス5名で行う。

道場連盟のベスト8以上で試合を行うが、減量をさせないことがルールである。

よって、当日軽量級から重量級へのエントリーもありうる。その場合軽量級への補充は行わない。抽選が終わったら、ホームページにアップする。

(5) 九州少年柔道大会について

松永理事長：来月7日に基山町で役員会を開催する。試合は新ルールで行う。

今年から鹿児島も参加する。今後は沖縄県も参加してもらおう方向で進めているが、旅費等の支援を行う必要がある。本村会長と調整段階である。

議長：説明に対し、皆さんからの質疑は？ → 意見なし→ 承認される。

4. その他

俣野副理事長：マウスピースの普及について

県歯科医師会でマウスピースの普及を行うことを決定した。2008年に全柔連で装着については認められている。色は透明と白色のみ。

長崎県は安全性については、幼児へのヘッドキャップの着用や片膝をついた姿勢からの技の反則など、先進地的な取り組みを行っている。マウスピースは頸椎損傷の予防にもなるので、普及に努めたい。

陣内副理事長：Nマーク選手一覧を確認していただき、名前等修正が必要であれば報告してほしい。

松永理事長：H30年度の九州少年柔道大会は、現在久留米市で体育館が建造中であり、そのこけら落としの大会として実施が決定している。駐車場も多い。

松添相談役：ヘッドキャップの評価は？

松永理事長：九州少年柔道大会は3年前から採用しており、H28年度からメモリード杯についても、幼児に採用した。諫早市で開催された大会では小1が着けていた。

親からの評判は悪かったが、安全重視の大会とするため、今後も継続して行っていく。

松永理事長：H28年度のメモリード杯の団体優勝について、「諏訪の森柔道教室」の連覇記録に誤りがあった。正式には10連覇が正である。

松永理事長：その他に皆さんからの意見等はないか？ → 無し

～議事終了～

5. 閉 会